

いーぶん

● 素敵なパートナーになるために ●

第39号

平成29(2017)年2月

特集

あなたにとって「ワーク・ライフ・バランス」とは？



みなさんは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか？簡単にいうと「仕事と生活の調和」です。働きながら子育てや介護、家庭や地域での活動、余暇などの私生活をうまく調和させることをいいます。

今回の特集では、あなたにとっての「ワーク・ライフ・バランス」について考えてみましょう。

『いーぶん』に対する、ご意見等をお寄せください。

ワーク・ライフ・バランスを実現させ、輝いている女性にインタビュー

みなさんの周りには、仕事、家事と自分のやりたいことをうまく両立している方はいらっしゃいますか？

今回、仕事や家事をこなしながら、「日本フットサルリーグ2016プレ大会」に出場した一宮市のフットサルクラブ「ユニアオレディース」に所属、主力選手として活躍中の巽由香利さんにお話をうかがうことができました。

巽さんは、3人の男の子(現在:高3・中3・中2)が幼い頃からフットサルクラブに加入、現在は保険外交員としても働きながら選手生活を続けています。



フットサルの練習は週に何回くらいですか？

平日週2回、夜9時から11時まで練習しています。土・日には遠征や公式戦で県外に出かけることもありますよ。

仕事にフットサルに家事と、目まぐるしい忙しさでは？

そうですね。保険の外交員という仕事柄、勤務時間の調整がしやすいので、お昼のうちに夕飯を準備したり、洗濯物を取り込んだりする日もあります。それから、3人の子どもが家事(茶碗洗い・洗濯・掃除)を分担して手伝ってくれています。特に、外交員として働き始めた4年前からは、主人も含め、家族が本当に協力的です。

「仕事、フットサル、家事」の中で優先順位をつけるとしたら？

私の中で、この3つに優先順位をつけることは難しいんです。あえて言うなら、「30・40・30」でしょうか？フットサルを続けるためには、好きなこと(フットサル)だけに夢中に



なるのではなく、社会人としてしっかり働き、家事もこなさなければいけないと若い頃から考えていました。また、子どもにも「母親」としての姿だけでなく、仕事をする姿、フットサル選手として活躍する姿も見てほしいと思っています。

今までで一番うれしかったことは？

今秋の日本リーグ開幕セレモニーのネット配信を観た長男から、「夢をどんどん叶えているお母さんをすごいと思ってる」という内容のメールをもらったことです。今まで自信を持って突き進んできたつもりでしたが、他のお母さんに比べたら、やっていることは少ないし、不安もありました。でも、このメールをもらって、(自分がやってきたことが)間違っていなかったと、とてもうれしい気持ちになりました。

これから仕事を始めたい女性に伝えたいことは？

やるならやるで自信を持って進めば、子どもはそれを見て育ってくれると思っています。働いているからいろいろ出来なくてごめんね、と引け目を感じてほしくないですね。

『いーぶん』は「男女共同参画」に関する様々な情報や話題を皆さんに提供する情報紙です。『いーぶん』という名称には、男女の平等『EVEN』とみんなの『言い分』という意味が込められています。

編集協力者／岡西 美子、横井 秀子、吉田 和江、伊藤 孝司、岩田 宏美 編集・イラスト協力者／後藤 明美
編集・発行／一宮市企画部企画政策課

〒491-8501 一宮市本町2-5-6 TEL 0586-28-8952 FAX 0586-73-9128

Eメールアドレス kikakuseisaku@city.ichinomiya.lg.jp ウェブサイト <http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/>

* 一宮市のウェブサイトでは、『いーぶん』のバックナンバーがご覧いただけます。

* 『いーぶん』は市内公共施設で配布しています。配布場所については企画政策課にお問い合わせください。

『いーぶん』は再生紙を使用しています。

いーばんさん家の1週間~ワーク・ライフ・バランス~

「ワーク・ライフ・バランス」とは、ただ単に「仕事」と「家庭」を両立させることだけをいうものではありません。「仕事」と子育てや親の介護、地域活動、レクリエーション等の「仕事以外の生活」の調和が図られる状態をいいます。年齢・性別や家庭環境などによって、望まれる「ワーク・ライフ・バランス」はさまざまです。「いーばんさん家」を参考にあなたの理想の「ワーク・ライフ・バランス」について考えてみませんか？

いーばん家の紹介

夫

働き盛りの30代会社員。育児休暇から復職した妻を応援したいと最近料理を勉強中。趣味の釣りで休日はリフレッシュ!



妻

30代。数年前に育児休暇を終えて仕事を再開。仕事のキャリアも大切だけど、子どもには愛情をいっぱい注ぎたい。



子

4歳。パパが絵本を読んでくれるのを楽しみにしている。



月曜日

朝7時

ミーティングがあるから早朝出勤



朝8時

ごみ出し。今日は妻の代わりに子どもを保育園に送る。



お義母さん、今日も保育園のお迎えありがとう。いつも助かります。



子どもに絵本を読み聞かせる。



火曜日



今日ってお昼何食べた?



今日の夕飯何にしようかしら? ササッと作りたいわ

夜6時



夜8時

夕食後、最近通い始めたスポーツジムへ



水曜日

朝7時30分

早めの時間を希望して今日は資源回収の当番



よ~し、ママのようにできたぞー! たくさん食べなさい

夜6時30分

今日は新しいおかずにチャレンジするぞ!



木曜日

ところにより雨が降るでしょう



今日、残業って言ってたなあ~。



夜6時



金曜日

午前10時

今日は保育園の面談日



夜6時30分



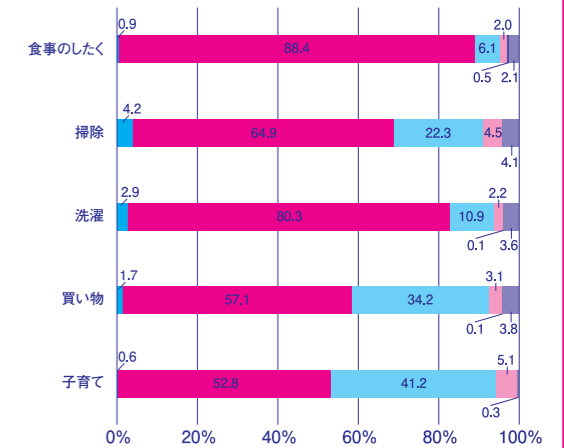
週末

早朝~



家庭における家事分担

配偶者と暮らしている人に、家庭の家事分担について聞いたところ、「食事のしたく」「掃除」「洗濯」「買い物」「子育て」において、「妻」と回答した人の割合が高くなっています。「夫」と回答した人の割合がもっとも低いのは、「子育て」となっています。



■夫 ■妻 ■夫婦 ■家族全員 ■家族以外の人 ■わからない・無回答
 ※「子育て」の回答対象者は、子育て中の方。無回答を除く
 (一宮市「男女共同参画意識に関する調査報告書」平成25年11月)